

教科： 国語科

科目： 言語文化

単位数： 2 単位

教科担当者：

使用教科書：（東京書籍701「新編言語文化」）

教科 国語科

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A 単元 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 常用漢字の読み方に慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとする姿勢を養う。	古文入門 古文の世界へ 『児のそら寝』 『絵仏師良秀』 古文学習のしるべ1 漢字の書き取り	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 常用漢字の読み方に慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。	主として 査による 評価	主として レポート による 評価	○	1
	B 単元 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 常用漢字の読み方に慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えようとする姿勢を養う。	漢文入門 漢文に親しむ 訓読の基本 故事成語 古文学習のしるべ2 漢字の書き取り	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 常用漢字の読み方に慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えようとしている。	主として 査による 評価	主として レポート による 評価	○	1
	C 単元 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 常用漢字の読み方に慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで表現の効果を理解して、詩歌を読み味わい、学習課題に沿って、作者のものの感じ方について考える姿勢を養う。	詩歌 命をうたう 短歌・俳句 詩『冬が来た』 漢字の書き取り	【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 常用漢字の読み方に慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで表現の効果を理解して、詩歌を読み味わい、学習課題に沿って、作者のものの感じ方について考えようとしている。	主として 査による 評価	主として レポート による 評価	○	1
	定期考査			○	○		1

